



FUKUOKA JO GAKUIN

福岡女学院創立134周年記念コンサート



134th

CONCERT

2019.5.18 sat (創立記念日)

13:30 開場 14:00 開演

入場無料

就学前のお子様の入場はご遠慮ください。
教育環境整備のための募金箱を設置させていただきます。ご協力をお願いいたします。

福岡女学院 ギール記念講堂

福岡市南区日佐3丁目42-1

演奏

福岡女学院高等学校音楽科

Program

コダーイ/ジプシーがチーズを食べる (合唱)

モーツアルト/2台のピアノ・ソナタニ長調

第1楽章 K448 (ピアノ二重奏)

三井ふたばこ作詞・中田喜直作曲/むこうむこう
(ソプラノ独唱)

グリーグ/ヴァイオリン・ソナタ第3番 Op.45

第3楽章(ヴァイオリン・ピアノ二重奏)

ドブロゴス/ミサより Introitus、Kyrie (合唱)

ほか

スペシャルゲスト

吉井美由紀 (ピアニスト)

福岡女学院高等学校音楽科卒業



Program

スクリャービン/2つの詩曲 Op.32

リスト/夜想曲『夢の中で』

ベートーヴェン/ソナタ ホ長調 Op.109

託児サービス

対象 1歳以上就学前のお子様 (子ども一人に付き1,000円) ※開演30分前から公演終了後30分まで
申込方法 5/10 (金) までに電話でお申し込みください。
お申込み 広報・校友課 Tel.092-575-2949 (平日9:00~17:00、土日祝日は閉室)

主催：学校法人福岡女学院

後援 / 福岡市・福岡市教育委員会・(公財)福岡市文化芸術振興財団・春日市教育委員会・大野城市教育委員会
朝日新聞社・毎日新聞社・西日本新聞社・読売新聞西部本社

お問合せは 学校法人福岡女学院 広報・校友課 Tel.092-575-2949 Email gakuin-pr@fukujo.ac.jp



FUKUOKA JO GAKUIN

134th

CONCERT

福岡女学院を深く愛し、在校生の成長を心より願う
卒業生の今石悦子様より寄贈されたスタインウェイのピアノが
創立134周年記念コンサートでも演奏されます。

福岡女学院高等学校 音楽科

福岡女学院は創設の頃から音楽教育に力を注いきました。1903（明治36）年当時、福岡市内には本校の一台しかピアノはありませんでした。戦時の空白時を過ぎると当時の徳永ヨシ院長の思いもあり、音楽のグループレッスンがはじめられ、生徒たちの技術も向上し、全国合唱コンクールに何度も優勝する水準の実力をつけてきました。1963（昭和38）年に福岡女学院高等学校音楽科が開設され、今年で56周年を迎えます。これまでに、国内外で活躍する多くの音楽家を輩出しており、時代の中で求められる感性の豊かさを提供している人材が卒業生に大勢いることは、福岡女学院の誇りであり、社会に対する大切な奉仕であると考えています。

スペシャルゲスト：吉井 美由紀 MIYUKI YOSHI

福岡女学院高等学校音楽科卒業。東京芸術大学卒業。ミュンヘン国立音楽大学マイスタークラス修了。1988～1996年、ミュンヘン国立音楽大学非常勤講師として、パウル・マイゼン教授のクラス等で伴奏助手を務め、1996～2002年、東京芸術大学に於いて同じくP・マイゼン教授の許で非常勤講師、さらに1998年より東京学芸大学非常勤講師。1987年マリア・カラス国際コンクール奨励賞受賞。シューベルト国際コンクール（於ドルトムント）ファイナリスト。演奏活動は多岐にわたり、歌曲伴奏者、室内楽奏者として、エルンスト・ヘフリガー氏、廣吉里歌子氏、平松英子氏、元ウィーン・フィル首席トランペッタ奏者ハンス・ガンシュ氏、チェロ奏者アダルベルト・スコチッチ氏、ファゴット奏者小山莉絵氏等と共に演、またバイエルン放送局、NHK-FMにてレコーディングを行う。ソロピアニストとしては、ドイツ各地でリサイタル開催、津田ホール、東京文化会館等でリサイタル開催のほか、バッハの平均率クラヴィア曲集連続演奏会を国内外で展開。また、4人のピアニストによるARTIS Piano Ensemble (8手連弾)のメンバーとして、日本、ドイツの各都市で公演。杉山千賀子、堀江孝子、室井摩耶子、クラウス・シルデの諸氏に師事。

アクセス

《JR+西鉄バス》

●鹿児島本線 [南福岡駅]

→ 西鉄バス45番(約15分)

《西鉄電車+西鉄バス》

●西鉄天神大牟田線 [井尻駅]

→ 西鉄バス45番(約12分)

●西鉄天神大牟田線 [大橋駅]

→ 西鉄バス42番(約13分)

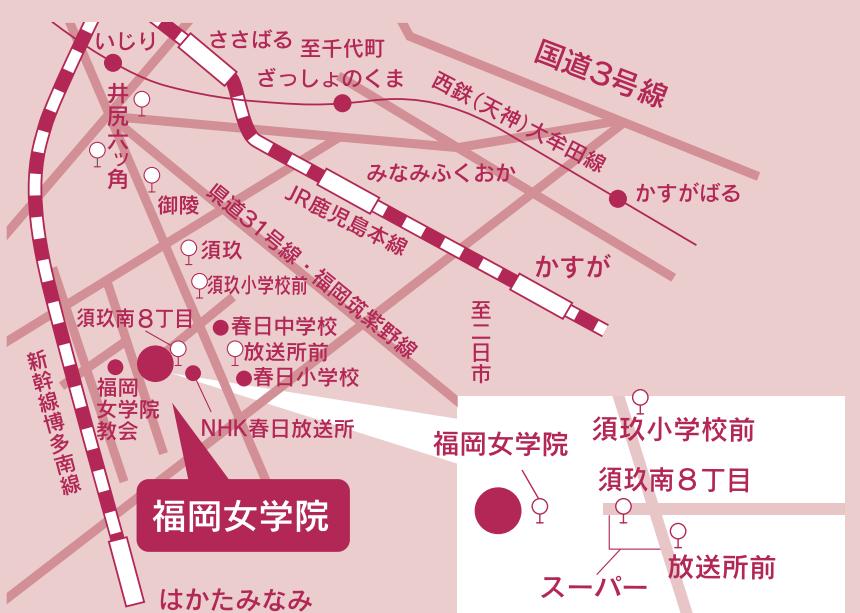
《自動車》

●九州自動車道 太宰府I.C

→ 車で約25分

●福岡都市高速道路 野多目ランプ

→ 車で約5分



※バスは女学院経由のものと放送所前から徒歩となるものがあります。